# 臺灣總督府民政事務報告　第二号

REEL No. 1-0463

0010

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

本年八月臺灣總督府條例廢止ニ係ル民政事務施行ノ概況等ハ曩ニ及報告置候処去ル九月中ニ施行シタル民政事務ノ概況等別冊及報告候也

明治二十八年十月二十二日

臺灣総督伯爵 樺山資紀

臺灣事務局總裁侯爵伊藤博文殿

追テ曩ニ提出セシ報告書ヲ第一号トシ本報告書ヲ第二号トシ今後提出スヘキ報告書ハ逐次番号ヲ記シ可申候此段追申仰迄

REEL No. 1-0463

00 11

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

報告第二号

## 事務施行ノ概況

民政局事務ノ施行ハ曩キニ報告セシ如ク民政局分課規程及文書處理手續等ヲ定メ各吏員ヲシテ其責任ノ分界ヲ明カナラシメ而シテ曩ニ報告セシ砂金署章程ニ依リ設置シタル砂金署ハ九月十五日ヲ以テ事務ヲ開始シ別紙甲号官租徴收取扱心得及官租徴收並罰則ヲ規定シテ官租ヲ徴收セシムルコトニシ別紙乙号鑛業規則（金ヲ除ク）ヲ規定シテ鑛業人ノ取締ヲ為サシメ別紙丙号民政局記録規則及丁号記録分類規則ヲ規定シテ公文書ノ整理並ニ保管ヲ為サシメタリ又軍隊ノ進行ニ伴ヒ其平定ニ帰シタル地ニ設置シタル民政支部及其出張所即チ台湾支部及苗栗廉澳両出張所ハ如キハ開廳後鋭意清濯法施行戶口調査其他諸般ノ事務



ニ従事シテ着々其歩ヲ進メ台北縣ニ於テ九月十日ヲ期シ同縣管下ノ台民ヨリ提出セシメタル地基契据（地券及家屋賣買契約証）ノ調査ハ九月下旬ニ至リ粗其緒ニ就キ又同縣管下大嵙崁ニ同縣ノ出張事務所ヲ設置シテ既ニ事務ヲ開始シタリ

## 生蕃人ノ來府

民政局殖產部長心得橋口文藏台北縣知事心得田中綱常ハ九月二日各其傘下属数名ヲ率ヒテ台北縣管下大嵙崁ニ到リ同七日ヲ以テ蕃界ナル草嶺山下ニ於テ生蕃人男女十九名ト會見シ其十名ヲ伴フテ大嵙崁ニ返リ又其五名ヲ伴フテ同九日台北ニ帰レリ蓋シ生蕃人ノ性タル極メテ蒙昧愚魯ナリト雖モ亦正直固信ノ風ヲ存ス之ヲシテ一タビ悪感情ヲ懐カシムンカ他日之ヲ挽回スルノ途ナ

REEL No. 1-0463
0012
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ク支ノ二百年来支那人ヲ仇敵視シテ常ニ反抗ヲ試ムルカ如キハ好例証ト謂フヘシ故ニ之ヲ綏撫馴服セシムルハ実ニ本島拓殖上緊要ノ事ナリトスト乃チ総督府内ニ宿泊セシメテ酒食ヲ供シ衣物ヲ給シテ其遠来ノ労ヲ慰メタルニ彼等ハ真ニ感天喜地ノ衷情ヲ表シ宿舎ニ三泊シテ同十二日帰社ノ途ニ上リ其出発ニ際シテハ憲兵ヲシテ蕃界マテ之ヲ護送セシメタリ又其草嶺山下會見ノ始末ハ別紙成号台北縣知事心得ノ會見報告書ニ詳カナレハ茲ニ之ヲ略ス

## 保良局ノ概況

上意下達下情上疏以テ良民ヲ保護スルノ趣旨ニ因リ台北市民中ノ紳商等本年八月八日ヲ以テ保良総局ナルモノヲ設置シ尚更各地ニ其分局ヲ設立シタル次第ハ曩ニ報告シタル其総分局ノ設置二十餘箇所ニ達シ台湾支部管下澳港ノ如キ亦已ニ之カ設置ヲ見ルニ至レリ（別紙已号報告書参看）今総局設置以来ノ景況ヲ観ルニ人民綏撫ノ上ニ就キ頗ル好成績ヲ得テ官民大ニ其便ニ頼リ加フルニ悪漢匪徒ノ搦捕上亦カヲ尽スモノ尠カラス依テ九月二十五日民政局長ヲシテ別紙庚号書面ノ通金圓ヲ賜與シテ之ヲ賞励セシメタリ猶南部ノ平定スルニ随ヒ南部各地ニ其分局ヲ増設セハ戰後ノ人民綏撫上裨益スル所亦実ニ尠カラサルヘシ

甲号

官租收納取扱心得　明治八年九月八日制第七号

第一條　官租トハ従来前清國政府ニ於テ收納セシ沙封田學田官莊田隱匿田息莊田義渡田等ノ大租若クハ小租ヲ云フ

但學田義渡田ノ分ハ官租收納ノ際收納セシモノ並ニ之ヲ收入ニ立ラシタル地方廳ニ於テ保管シ經費數小租ヲ個戸ノ賠償ニ與ヘシ性質等ヲ報告スベシ

第二條　大租ノ納人ハ其田ノ所有主ト小租ノ納人トハ其田ノ耕作人トス

但本年ハ意外ニ遅延シタルヲ得

第三條　收納義務ヲ負ヒ居ル者ヲ除ク外官租ノ納期ハ前期穀期ノ別ナクトモノハ其年期ノ末日ニ納入スベシ

ノミヲ收納スルヲ納入ノ時前金ヲ收納セシムルコトヲ得

第四條　從前石納ノ處ハ定價ニ準シテ收納セシモノハ定納セシモノハ市價ニ準シテ收納セシムベシ

以テ收納セシムベキ割ヲ市價ニ換算スベシ

但市價ハ前年ノ割ニ依リ

第五條 [illegible]

第六條 [illegible]

第七條 [illegible]

第八條 [illegible]

第九條 [illegible]

第十條 [illegible]

REEL No. 1-0463

0015

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヨリ代納者アルトキモ亦前條ノ例ニ依ル

第十一條 官租納入ノ義務アル者故意ニ隠蔽シテ脱免ヲ謀リタル者ハ其財産ノ全部ヲ没収シ尚政府ノ個ヲ没収シタルコトヲ禁スヘシ

第十二條 收納掛員ハ地方廳ニ於テ之ヲ命シ便宜ノ地ニ出張所ヲ設ケ又巡回シテ收納事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

但巡回事務ヲ取扱フトキハ豫メ各庄ノ長ニ巡回ノ期日ヲ達シ置クヘシ

第十三條 收納掛員中ニ收入主任官ヲ置キ官任收入官吏ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第十四條 收入主任官ハ官租ノ納付ヲ受ケタルトキハ官租墨帳及納人ヲ提出セルモノ前年ノ領收證書ヲ照ラシ其符合ヲ認メテ之ヲ領收シ別紙領收證書ヲ納人ニ交付スヘシ

但納人ヨリ收ムル所ノ金額田種又ハ穀數等ニ疑義アルトキハ仮リニ之ヲ領收シ仮領收證書ヲ発シ其旨ヲ納人ニ告知シ置クヘシ

第十五條 延納滞納脱租等ノ違犯ニ係

REEL No. 1-0463
0016
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ル處分ハ分任收入官又ハ收入主任官ニ於テ即決執行スルモノトス

第十六條收入主任官ニ於テ前條ノ納金ヲ領收シタルトキハ可成的速ニ分任收入官吏ニ拂込ノ手續ヲ為スヘシ

但金櫃ヲ回送スルトキハ憲兵守備隊又ハ警察官ノ護衛ヲ請求シ相當ノ保管ヲ為スヘシ

REEL No. 1-0463

0017

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第(何)号

二十八年度前(后)期

何堡何庄小租戸(又ハ佃戸)姓名納

一金 何程

抄封田又ハ何々田大租(又ハ小租)何石何斗何升
此代金定價(又ハ時價)壱石壱円拾七錢ノ割

明治二十八年 月 日

領主
主任 收入官 (檢印)

主任 收入官 (檢印)

第 号

二十八年度前(后)期

何堡何庄小租戸(又ハ佃戸)姓名納

一金 何程

抄封田又ハ何々田大租(又ハ小租)何石何斗何升何々
此代金定價又ハ時價壱石金壱円何々ノ割

主任 收入官 (檢印)

右證領收

明治二十八年 月 日

何々出張所收入主任官氏名 印

(九)

REEL No. 1-0463

0018

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

官租徴收ニ関スル諭告 明治廿八年九月廿八日令第十號

本總督各地方官廳ニ命スル官租徴收ノ事及其徴收納期収納場所其他ノ條規ヲ告示スルコトヲ以テシタリ依テ各官田ノ租戸佃戸等ハ該地方官廳ノ告示スル所ニ遵ヒ各其租額ニ前金ノ領収證書ヲ添ヘ期日ニ遵ハス指定ノ場所ニ納入スヘシ若シ納期ヲ過キテ納ムルカ又ハ督促ヲ受ケテ尚ホ完納セサルカ又ハ故意ニ隠蔽シテ脱租ヲ謀リタル者ハ左ノ罰則ニ照シ之ヲ處分スヘシ

罰則

第一條 納期ヲ過キテ完納シタルトキハ納額ノ二割ニ當ル滞納過怠金ヲ徴收ス

第二條 督促ヲ受ケテ尚十日以内ニ完納セサルトキハ納額ノ五割ニ當ル滞納過怠金ヲ徴收ス但此場合ニ於テハ滞納者ノ財産ニ就キ納額及過怠金額ヲ見積リ其金額若シハ一部ヲ公賣シ納額及過怠金ニ充テ残余アルトキハ之ヲ納人ニ還付ス

第三條 故意ニ隠蔽シテ脱免ヲ謀リタルトキハ其財産ノ全部ヲ没收ス

REEL No. 1-0463
0019
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

全訳文

臺灣總督海軍大將伯爵樺山

劉功曉諭事照得本總督諭飭各地方官廳為
徵收各項官租並使其便宜告示納期分設
課館等章程准爾各等租戶佃戶凛遵該地
方官廳所告屆期各自到課館徵驗完納並
同滯舊年完單毋得混雜合行出示曉諭為此
示仰爾等知悉務須踵來投徵絲毫不准藉
欠遲悞倘有逾限未完或催而完或故意隱
實謀脫者一經查覺即照左開罰款章程分
別究辦姑不寬貸其各凛慎之毋違特示

罰款

第一條逾限未完者應罰加租二成

第二條遇催之後再過十日倘未完納者查出
該租戶或佃戶資產案筭抵租並加其五成
清完如有剩餘還給

第三條故意隱實謀脫者全徵該租戶或佃戶
資產一切充公



REEL No. 1-0463
0020
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

乙号

日令第九號

鑛業規則左ノ通リ相定ム

明治二十八年九月　日　臺灣總督伯爵樺山資紀

## 鑛業規則

第一條　鑛物（金ヲ除ク）ノ採掘及之ニ附屬スル事業ハ當分ノ内從來ノ鑛業人及採掘區域ニ限リ之ヲ許可ス

第二條　鑛業人ハ地方官定ムル所ノ期限内採掘願書ニ從來ノ採掘區域圖ヲ添ヘ地方官ニ差出スヘシ其期限經過後ノ出願ハ無効トス

第三條　二人以上ノ鑛業人同區域内ニ於テ採掘ヲ為ストキハ總代一名ヲ選定シ其名義ヲ以テ出願スヘシ總代ノ選定ハ各鑛業人ノ連署ヲ以テ地方官ニ届出ヘシ

第四條　採掘ヲ出願スル者ハ手數料トシテ一人ニ付金五円ヲ納ムヘシ

第五條　地方官ハ從來ノ採掘區域廣キニ屬スルト認メタルトキハ臺灣總督府民政局長ノ認可ニ經テ減縮セシムルコトヲ得

第六條　地方官採掘ノ許可ヲ與フヘキモノト認メタルトキハ鑛業許可証ヲ下付スヘシ

第七條　許可ヲ得タル鑛物ノ採掘權ハ賣買讓與又ハ書入ヲ為スコトヲ許サス

第八條　鑛業人廢業シタルトキハ其旨ヲ地方官ニ届出鑛業許可証ヲ返納スヘシ

鑛業人休業三十日ニ亘ルトキハ其理由ヲ地方官ニ届出ヘシ地方官休業ノ理由ヲ不當トシ且ツ將來適當

REEL No. 1-0463

0021

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ事業継続スル能ハサルモノト認ムルトキハ台湾總督ノ民政局長ノ認可ヲ経テ採掘ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第九條 許可又ハ特許ヲ得タル者採掘ノ許可ヲ得タルコトヲ発見シタルトキハ台湾總督府民政局長ニ届出可ヲ経テ其許可ヲ取消スコトヲ得

第十條 鑛業人ハ毎月ノ製産高ヲ翌月十日マテニ地方官ニ届出ヘシ

第十一條 許可ヲ得ントスル者又ハ採掘ニ関シ許可ヲ得タル者ハ其以上五十円以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 第八條第九條ニ違フ者ハ五十円以上百円以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 採掘ノ事業ニ妨害アリテ長クハ採掘ヲ損害シ若クハ公益ニ害アリト認ムルトキハ地方官ハ其採掘ヲ停止スルコトヲ得

REEL No. 1-0463
0022
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

乙号

## 諭文

茲制定鑛業規則開列於左

明治三十八年九月　日　臺灣總督伯爵樺山資紀

## 鑛業規則

第一條　鑛物之探堀（除黃金及屬採堀之業始照清國政府從來所准之鑛業人暨採堀地區允准採堀

第二條　鑛業人遵守地方官廳所示之期日將採堀稟呈並從來採堀境域地圖經赴廳稟請允准若過期具稟一切無准

第三條　鑛業人二人以上欲同就一處採堀鑛物則務先選定工頭一名以稟請允准

其內選定工頭少須其鑛業人等連署具稟

第四條　稟請採堀允准者每一名失徵手數料五圓

第五條　從來之採堀地區如有失廣濶之虞則地方官廳隨時稟達臺灣府民政局長割減其地區

第六條　地方官廳允准採堀則必發給允准證稟

第七條　既經允准者不准轉賣採堀鑛物之權或讓與別人或充借銀之用

第八條　鑛業人永停廢業則應具稟地方官廳還納允准證稟暫停採堀者其停業逾三年日則應赴地方官廳更稟停業緣由地方官查明之後其緣由不理或以為不耐經續其業則稟臺灣總督府民政局長消廢其允准

第九條　據假日月或錯誤之稟請發給允准證稟之後地方官查出其緣由則稟臺灣總督府民政局長消廢其允准

第十條　鑛業人期每月初十日應赴地方官廳稟稟前月內所出之日量數

第十一條　不經允准私為採堀者並假員採堀者即徵五圓以

上五拾圓以下之罰金

第十二條 違犯第八條暨第十條者即徵五拾錢以上壹圓九拾五錢以下之科料

第十三條 妨害他人之業務或乱開坑眼荒廢鑛地或有碍公益者地方官一經查出則使其停業或日不准採掘



REEL No. 1-0463

0024

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

丙号

臺灣總督府民政局記錄規則　明治四十五年六月廿日

第一條　民政局ノ記錄文書ハ凡テ文書課記錄掛ニ於テ之ヲ管理ス

第二條　記錄掛ハ文書ヲ適當ニ概別編次シテ之ヲ保管シ兼テ必要ノ參考上必要ナル法令ヲ編纂シテ事務ニ便スル

ノ主務ヲ有ス

第三條　記錄掛ニ於テ文書ノ引繼ヲ受ケタルトキハ之ヲ受書簿ニ登錄シ各文書ニ就キ左ノ事項ヲ概別スベシ

一　保存年限

二　分類

三　關係文書ノ完否

四　他ノ關係文書ニ對スル訂正追加ノ要否

第四條　保存文書ハ更ニ其文書ノ性質ニ基キ別目錄ニ登錄スベシ

第五條　記錄掛ニ於テ文書ヲ概別シ他ノ關係文書ニ訂正追加スルノ必要アルモノハ各其文書ニ變更ヲ加ヘ

句及變更年月日ヲ記載シ置クベシ

第六條　文書ノ各部又ハ各類文書ヲ冊數ニスルモノハ一方原本ヲ收メ一方ニハ摘要書ヲ收ムベシ但其類別目錄ヲ記載スルトキハ摘要書ヲ收メタルモノニハ朱記ヲ傍ト

第七條　文書ハ其類別ニ依リ書函ノ類別區劃ニ收藏スベシ

第八條　文書中民政局長ノ命令又ハ各部長ノ要求ニ依リ特ニ重要ニシテ又ハ秘密ニ付スベキモノハ之ヲ特別ノ書函ニ收藏シ文書課長又ハ記錄掛長自ラ之ヲ管守スベシ

REEL No. 1-0463

0025

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第九條　書函ノ管鑰ハ之ヲ鍵箱ニ收メ記錄掛長自ラ之ヲ保管ス

第十條　文書ノ出納閲覽ハ凡テ丁寧ニ取扱ヒ錯雜汚損スヘカラス

第十一條　文書ヲ閲覽セントスル者ハ凡テ記錄掛ニ就キ之ヲ閲覽スヘシ　何人ヲ問ハス記錄掛長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ自ラ書函ニ就キ文書ヲ搜索スルコトヲ得ス

第十二條　各局課員ニシテ文書ノ借覽ヲ要スル者アル時ハ之ヲ借受クルコトヲ得　借受人ハ文書貸付簿ニ文書ノ類別番号及氏名ヲ登錄シ且借受文書ヲ返付シタルトキハ借受人自ラ貸付簿ニ消印スヘシ

第十三條　秘密文書ヲ借覽スル者ハ当該局課長ノ証明ヲ要シ又其文書ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

REEL No. 1-0463
0026
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

丁号

台湾総督府庁政局記録分類規則　明治廿年廿三日長官決議

第一條　庁政局記録文書ハ之ヲ大別シテ二十九門トシ門ヲ分ケテ部トシ部ヲ分ケテ類トシ文書ハ凡テ各類ニ依リ編次ス其類別ハ別表定ムル所ニ依ル

第二條　各部中ニ総規ノ一類ヲ置キ該部全体ニ関スル規則其他重要ノ文書ヲ編次ス

第三條　類別表ニ適当セサル文書アリタルトキハ当分文書課長假ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第四條　既廃ノ法規等ニ基ケル文書ニシテ将来ニ同種ノ公文ナシト認ムルモノ及参考摘要書ハ之ヲ類別外トシ別ニ之ヲ保管ス



REEL No. 1-0463

0027

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

# 戊号

## 台北縣知事生蕃會見報告

九月四日大嵙崁附近ニテ生蕃ト會見スル為メ小官ハ本月二日正午当縣廳ヲ出発シ翌三日午後三時宮二番ノ隧道ヲ経ヘ桃ヲ園ニ向ヒ出発セリ相手殖産部長橋口文藏其他官一両名ト同行セリ

午後二時桃ヲ園ニ着シ一時半桃ヲ園ヲ発シ同

一五時大嵙崁ニ到リ当縣ノ出張所ニ入リ生蕃ト出會ノ都合ヲ議シ通訳人ヲ伯ヲ蕃地事情及蕃人ノ嗜好ヲ聞ク所アリ翌朝ヲ準備シ且ツ其間ヲ利シテ出張ヲリ来ル限定シ本日ヲ以テ出発ヲ見ル旨ヲ通知シ蕃地ヲ見ル旨ヲ限セリ

水暴漲ニテ内山ニ入ル能ハス已ムヲ得ス此ニ五日ヲ消シ本月七日ニ至リ漸メテ通行ヲ内山ニ遣ハシテ偵察ス人日通行ヲ可ナリ帰ノ報ヲ聞ク

此夜来ル八日ニ至リ晴ルヲ出ヲ待ツ

見ル一行ハ午後八時ヲ期シ出発ス

河水低ク部下若干ヲ出発ス一行ハ一同ニ前ニ合

出ニ着セリ当日ハ大嵙崁ヨリ蕃地ヲ通ル最後ノ村落

ニテ有名ナル嶺ヲ山ヲ生蕃ト境ヲ一行

ハ此出内ニ入リ林中ヲ生蕃ト境ヲ一行

ノ墓所ヲ濟セ午後一時半出テ平廣山下渡水ヲ過ニ到リ

通カニ内山ヲ望ヲ生蕃ノ出来ヲ

過ヲ一

ヒテ出ル

ハ我一行ノ多人数ニテ行ケバ彼等ノ恐怖ヲ来セレニアラズトテ前山ヲ過キテ彼等ニ接シ、前進シテ徐々ニ山麓ニ至リ一行ヲ迎ヘ山腹ノ生活ニ合ス以ク会見スルヤ宮ハ彼等ニシテ出ヲ路ヲ迎ヘ人ト称シ部人出陣ニ出ノ如シ

人負ヲ点スルニ男人女大

ダバヤ山社酋長

同社酋長ノ一行

同社酋長ノ一行

同社酋長

同社酋長

レユウ

二十

同

右ノ男ヒハ一人ノ一行ヲ先ノ集落煙草ヲ個ニ与ヘテ吃煙セシナリ宮ハ大ノ左ノ言ヲ通訳セシナリ以テ我等ノ意ヲ試ミタリ

我等ハ其酋ノ下ニ山ヲ来リ我ト我等ト相見ハ我等ノ大ニ悦ブ所ナリ日我等ハ我等ト会見シ次ヒ宮ヲ彦人且ノ訓諭ハ人キ陸軍ノ公事アルヲ以テ前日ヨリ大祈祷ニ来テ今日ニ至テ帰ヲ益ニ相會シテ我等ノ健強ニシテ温順ナル有様ヲ見ルヲ導ナルハ我等一同ノ歓迎スル所ナリ云々

茲ニ於テ酋ヲ与ヘテ吃セシ彼等ハ且ツ飲ニ且談シテ

云フ

前日尓等大家ト会見シ相約シタレトモ両降リテ溪水漲リ期ノ如ク来ルヿ能ハス今水勢ノ稍々減少セシヲ以テ是迄ノ人数ニテ来会セリ 別社ノモノハ大溪アリテ渉ルヿ能ハス云々

依テ小官ハ總督府ノ告示ヲ示シ其大意ヲ通訳セシメ且ツ左ノ言ヲ述ヘタリ

茲ニ你等ニ告クヘキ最モ緊要ノ事アリ你等宜シク小心シテ静聽スヘシ当台湾島ハ你等ノ住フ処モ支那人ノ住フ処モ全体共ニ我大日本ノ有ニ帰シ我 大皇帝ノ知シ召ス処トナレリノ故ニ從前所在ノ官衙等ハ当大嵙崁モ台北モ皆一律ニ我日本官吏ヲ管理スルニ付キ從前ノ支那官吏ハ皆悉ク去リタリ 故ニ今日以後尓等



ハ速ク我等ト同シク我大日本 皇帝陛下ノ赤子ニシテ亦我等ノ兄弟ナリ尓今能ク我官衙ノ命ヲ聽キ以テ我大日本 大皇帝陛下ニ忠義ヲ盡スヘシ云々

彼等ハ右ノ言ヲ聽キ畢テ互ニ何事カ談話シタル後首長アカアウハ徐々トシテ左ノ如ク述ヘタリ

当台湾カ日本ノ領分トナリシ事ハ前日已ニ之ヲ聞キ已ニ我等カ社及ヒ近辺ノ社ニハ一般ニ之ヲ告ケタリ依テ各社ノ老若ハ来テ日本官ノ見ルヘキ筈ナレトモ北方ハ支那人多クシテ何カト詐リ害セラレンヿヲ疑ヒ来見スルヿ能ハサリシカ今日大家ノ此ノ如ク多人数ニテ而カモ此ノ如ク我等ヲ悦ハル、上ハ我等内山ノモノハ一四ニ悦ヒ来リテ相見ルヘシ

小官ハ又左ノ言ヲ為セリ

你等大家我等ト斯ノ親交シ双心融和シテ両々相疑フ
ヿナク兄弟家相名乗合フタル上ハ你等ハ自由ニ全島
ヲ往来シ其余レルヲ與ヘ足ラサルヲ補フヘシ我等大
家モ亦自由ニ内山ヲ往来シ手ヲ携ヘテ俱ニ大平ヲ楽
ムヘシ

此ニ於テ彼等ハ所々ニ喜テ鯨飲セリ時ニ屬官ノ大碗ニ酒
ヲ盛リ彼等ニ與フルモノアリ酋長アカアウ碗ヲ執テ立
テ屬官ヲ擁シ共ニ飲マント擬ス屬官モ亦相擁シテ両面
相磨シ双口ヲ碗ノ一方ニ接ケ碗ヲ傾ケテ牛飲ス彼等衆
蕃大ニ喜ヒ立テ胸ヲ打チ天ヲ指テ其誠實親交ノ情
ヲ表スルヲ光景誠ニ宜シカリシ斯テ談話モ畢リ日モ漸ク晩
セシヲ以テ持ラセル所ノ赤布小刀洋酒鑵詰等ヲ均一ニ
分配シ異日ノ再見ヲ誓言フテ相別レントセシニ彼等ハ大

二安心セシモノヽ如ク何カ殘リ惜カリシニヤ彼等ノ一
半ハ見非大嶽ヲ往キ一泊セントヿヲ請フ由テ相伴
フテ大嶽ニ帰ルヿトシ婦人小兒等ト相別レ頭目五人
帰ヤ及小兒五人ト與ニ俱ニ大山科嶽ニ帰リシハ午後六
時ナリシ

今日已ニ會見ヲ畢リ撫安ノ意ヲ通スルヿヲ得タルヲ以
テ明日ハ早々帰廳スルヿニ決シ俄カニ其準備ヲ為セリ
此夜彼等ヲ郷食セントシ同奔走シテ酒肴ヲ整ヘ旧撫塁
局内ヲ借テ宴席ヲ設ケ生蕃十人支那人五人ヲ招キ守備
隊長以下五六人ト一行ノ者ヲ會シタリ此夜彼等ハ大食
大飲大ニ歡楽ヲ盡セリ宴酣ニシテ一酋歌ヒ二酋和セリ
試ニ其歌意ヲ訳セシニ左ノ如キモノナリシ
我等大家遠ク來リテ昆等ノ大家ト相會セシニ昨晩ヲ

REEL No. 1-0463
0031
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

テ社人ドモノ允ヤ角言ヒシトハ異ヒ我等大家ト同シ
心ニテ兄弟ト同シ心ヨリ相共ニ酒飲ミテ樂シキ
是等ノ大家カ我等カ社ニ來レハ今夜ノ樣ニ我等ト
共ニ醇ノ熟セルヲ飲ミテ樂マン
以上ノ光景ニテ彼等ハ最初草山領山ニテ會見ノ時ヨリモ
一層親交ヲ厚クセシモノヽ如クナリシヲ以テ次年臺
北ニ往キ總督ニ拜覲スヘキヿヲ勸メタルニ彼等相議シ
テ答フルニハ苟ノミ社ヲ出來リ直ニ歸ル積ナリシヲ
茲ニ一泊スルサヘアルニ又台北ニ往ケハ留守中ノヿ甚
心懸リ此次ハ一先飯山シ再ヒ來テ臺北ニ往クヘシト
由テ其何事カ心懸ナルヤト問フニ留守ニハ老タルモノ
ト稚キモノトノミナレハ猜ノ來テ家ヲ荒シ芋畑ヲ掘テ
ニヿヲ恐ルト此ニ於テ說キ勸メテ一羊ヲ帰山セシメ以
テ互ニ其留守ヲ守ラセ一羊ハ臺北ニ往クヘシトノヿニ
決シ此夜ハ一同ヲ當縣出張所ニ泊セシメタリ翌日彼
等ノ歸村スルモノニ牛一頭ヲ贈ラントシ夜中買
入ヲ爲サシメタリ
翌十九日早朝彼等ノ歸山スル者ニ別ヲ告ケテ赤
牛一頭ヲ與ヘ且ツ紀念ノ爲メ九ノ如キ意味ヲ書シテ與ヘタリ
今ヤ本島ハ我帝國ノ版圖ニ歸シ茲ニ仆等ト相見
スルヿヲ得タリ乍今以後信義ヲ表スル爲メ且ツ今日
ノ紀念トシテ赤牛一隻ヲ送ル

月　日　　田中臺北縣知事
　　橋口猛　產課長

カツパン山社ワタナウキ
シヤナマン社モトヲハ　外諸子

右ノ書面ヲ通譯セシメタルニ彼等ハ左ノ言ヲ述ヘタリ
ヒラ　マキタ　キタタ　スベラタタワラ
ヒメロゲルギ　ヤアミヤミ　リギエン　コレリヤ
アナンプサ　プカワス
右ノ語ヲ譯セシメタルニ左ノ如シ
昨晩大家ト相見シタリ大家ノ来ルヤ如ニ歓喜ハ
妻子等ハ實ニ吾等ヲモ如シ今日ヨリ餘我等ハ能
ク心ヲ改メテ忘レサルヘシ
此ニ於テ今朝帰山スル一羊ノ男女ニハ昨日會見セ
シ場所ニテ兵士ヲシテ送ラシメ其台部ニ来ルト云フ
男女ハ各々ヲ伴ヒ大嵙崁山坂ヲ出発セリ帰路ハ川向
ヲ廣ヒ生蕃ト與ニ圖ヲ堅メ相携ニ至テ晝食ヲ為シ
同時ニ大嵙崁ニ到リ上陸スル由ニ直ニ生蕃ヲ導キ

二十四

大嵙崁ニ於テハ一告示ヲ出シテ生蕃ト關係アルモノハ
吾等ノ如キ生蕃ニ接スルカ如キ總テ懇御ヲ加ヘ懇切ニ遇
スヘシ云々ノ意ヲ人民ニ告ケシタリ其他種々観察上
ノ項目アルモ右生蕃ニ關スル件ノミ摘出報告候也
明治廿八年十二月十二日
臺北縣知事心得田中綱常
臺灣總督伯爵樺山資紀殿

已号

## 兒玉台湾民政支部長鹿港巡視報告

一九月廿日午後一時彰化ヲ発シテ鹿港ニ向フ此里程我三里有餘ニシテ到ル処一面ノ水田ナリ所々竹藪アリ人家ヲ繞ラスモ一村落ヲ為スモノ稀ナリ道路ハ廣狹アリテ一定ナラスト雖モ多少工事ヲ施サハ馬車ヲ通スル敢テ難キニアラサルヘシ沿道ノ水田往々亀裂シテ廣漠タル田野ノ荒蕪シタルアリ其原因ヲ問ヒシニ這地一体彰化ヨリ高層ナル処アリ水利從テ乏シ殊ニ客年蛮賊等ノ用水ヲ他ニ流出セシ故水田概子荒蕪ノ状況トハナレリト然レトモ一体水利潤澤ナラサルヲ以テ水樋棒ノ水流ニ堰ヲ築キ分水セシモ年々出水ノ都度破壊ヲナシ災害ヲ被ル場所多々アリ故ニ技師ヲ派シテ調査セサレハ利害ヲ論スル能ハサルモ從来工事費用ヲ如何ニ処分シタルカヲ問ヒシニ皆人民ノ負担ニ係リシト云フ

一十二日ハ鹿港ニテ保良局開業式ノ招待ヲ受ケテ臨席セリ當所宿營陸軍少將川村旅團長以下將校等集會シ創業主趣書及章程等アリタリ是則辜顯榮翰旋ヨリ成ルモノナリト云フ

鹿港ニテ年間商業上輸出入ノ總價格ヲ問ヒシニ金貳百萬両ニシテ米穀ノ輸出多キニアリト云フ而シテ這地ヨリハ福州厦門ノ諸港ニ航スルヲ得ルモ其最モ交通スルハ泉州ヲ以テ第一トセリ目下輸出ノ盛ナルハ曩キニ電報ヲ以テ報告シタル如キ原因ナルヤ將タ收獲後ナルカ故カ之ヲ詳ニセスト雖モ独リ臺湾ノ地方ノ

REEL No. 1-0463
0034
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

豊山ノミニ依リテ從来ノ米價ニ関係スルコトナシ然レトモ清國湖南地方ノ豊山ニ関シテハ台湾地方米價ニ関係ヲ及スコト從前ヨリ普通ノ實況ナリト云フ

一農家小作人ニアツテハ米穀ヲ商ヒ一家ノ生計ヲ営ムモノヽ中ノ八九ナリ然ルニ之カ輸出ヲ禁スルニ於テハ貧民ノ之カ影響ヲ蒙ル容易ナラス全体這地ハ水田勝チニシテ畑地ハ稀ナリ從テ米穀ヲ商ヒ諸般ノ用度ニ供スルハ自然ノ道理ニ出ツ依テ輸出ヲ禁スル即チ商買上ニ影響ヲ及ホシ貧民ハ生活ノ途ヲ失ヒ困難ニ陥ヒルコト論ヲ俟タサルナリ

一鹿港ハ彰化縣輸出ニ発ケル中央部第一ノ港ナリ商買繁華豪商ノ輻湊スル所トシテ管下諸港口ニ出店ヲナシ商業ヲ営ムモノ最モ多シ故ニ中央諸港ニシテ何レノ



港口ヲ開設スルモ鹿港ノ商業家ニアツテハ利害ノ更ニ関係スルコトナシト主張シ居ルモ是ホタ鐵道ノ便利海陸運輸ノ遅速等其得失影響ノ如何ニ各港口ニ及フカノ度ヲ知ルニ到ラサルモノヽ言ナリ故ニ前顕ノ如キ運輸上ノ智識發達セサル人民カ各縣各地トモ適宜ノ便ニ從ヒ一二港口ヲ開キ僅カニ交通シ來リ未タ全ク陸運交通ノ便ヲ開カサル今日ニ於テ管下從来ノ港口ヲ閉塞シ一ノ港口ヲ以テ輸出港ト指定スルニ於テハ其縣下ノ人民ニアツテハ幸福ヲ得ルモ他ノ縣下ハ運輸ノ途ヲ閉塞セラレ悲ク困難ニ陥ランコト敢テ疑ヲ容レサルナリ依テ輸出港ノ如キハ從来ノ自由ニ任セ自然鐵道布設計畫モ台湾地方迄延長スルノ時機ニ際會セハ縣下人民モ亦從テ道路交通ノ便ヲ利用スルニ

至ルヤ必セリ然ルニ是ヲ管下中興部ニ輸出港ヲ指定セラルヽニ於テハ人民ノ利害得失大ニ其宜シキヲ得ルモノアラン然リト雖モ從来ノ各港口ニシテ輸出取締等ヲ設置スルニ於テハ其方法及人員ノ配置等甚タ至難ナルヲ目下ノ現況ヨリ觀察セハ其他ニ良法アルヲ知ラス因テ茲ニ愚見ヲ掲ケタルノミ

當部所轄ノ各縣下ニ於ケル輸出入港口ヲ參考ノ爲メ左ニ掲ク

苗栗縣下　中港　後壠港　通霄港　大安港

台灣縣下　梧栖港

彰化縣下　鹿港

雲林縣下　王宮港

嘉義縣下　布袋嘴港



一管下商人ノ所有セル商船拾七艘ニシテ何レノ港ト雖モ遠干潟ニシテ本船ハ二三哩内外ノ海濱ニ碇泊シ貨物ノ積却ハ悉ク竹筏ヲ用ヒテ潮ノ干滿ニ從ヒ之ヲ運用セリ又筏壹個ニシテ水夫四人ヲ使用シ四斗入米百俵ヲ積ミ而シテ一俵ノ賃銀五錢ナリト云フ即チ一回金五四ニシテ筏ニ登載スル運搬人夫ノ幾百人ナルヤ知ルヘカラスト魚モ道傍ニ立食スルモノ多キヲ以テ見レハ公負民ノ之カ爲メ生計ヲ立ツルモノ多數ナリト觀察スルモ大過ナカルヘシ

一鹿港市街ニ塩鹽局ナルモノアリ官塩貯藏ノ所ニシテ倉庫二十二ケ所アリ現今倉庫ニ貯藏シアルモノ拾貳室ナリ製塩ハ疎製ノ儘貯藏シ容易ニ戸口ヲ開クコト能ハス依テ數量ノ如キ未タ詳カナラサレトモ大小貳拾貳

室アリテ各室悉ク充實ヒ清和ヲ四萬石余ノ貯藏シ得ヘシトナリ目下憲兵ヲ以テ之ニ止宿セシメ取締フナサシメタリ

一臺灣彰化ノ兩縣下ニ於テ官有財産ニ係ル物件其他取調中ニ付追テ何分報告スヘシ

右報告候也

明治二十八年九月十七日

臺灣民政支部長兒玉利國

民政局長水野遵殿



REEL No. 1-0463

0037

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

## 庚号

台湾紳民ノ協同設立ニ属スル保良總局ハ官民和合ノ枢機トナリ下情上達ノ関鍵トナリ大ニ民政施行及匪徒探捕ニ補益シタルモノ多シ依テ本官ハ保良総局既往ノ効果ヲ總督閣下ニ具申シタルニ総督閣下ハ将来益設局ノ旨趣ヲ貫徹セシメトヲ勸諭シ併セテ金貳百五拾圓ヲ交付シ既往ノ功労ヲ賞スヘキコトヲ本官ニ命セラレタリ依テ茲ニ恭シク總督閣下ノ旨ヲ傳達ス

明治二十八年九月

民政局長 水野遵

## 譯文

臺灣紳民所設立之保良總局者官民和洽之枢機下情上達関鍵也雖設立日淺而其所裨益於民政施行匪徒探捕寔多矣是以本官具稟該局既往之功勞於總督大憲大憲乃命本官諭示該局自今之後益貫通當初設立之主旨且賜白銀貳百五拾圓以賞既往之功勞茲謹致總督大憲之意

明治二十八年九月 日

民政局長 水野遵

具金稟台北保良總局正主理劉廷玉副主理葉為圭
為稟陳祇領申謝事竊玉等自奉
諭創設保良総局以来幾屆兩月閭厲居民望風雀起洽
心歸順者咸知共浴吾
大皇帝皇上陛下恩寵優渥澤及台民所致地方安謐民生



REEL No. 1-0463
0038
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

業番由

政府深仁厚德撫綏周到玉等職司保良方愧辨理無狀

何幸更荷

將大請

樺山總督府帥憲閣下寵錫酹金貳佰伍拾圓感愧交集惶

悚莫鳴雖欲堅辭璧謝又恐條拂 鈞意致滋疑貳因

是冒昧祗領存為將来善挙之用敬謹肅稟鳴謝並候

水野民政局憲臺大人

副主理葉為圭

崇安百益

會辨李春生

朗照不既

明治二十八年十月初二日 具稟臺北保良總局正主理劉廷玉

譯文

臺北保良總局正主理劉廷玉副主理葉為圭會辨李春生

等謹啓受領陳謝仕候玉等貴論ヲ奉シ保良總局ヲ創

設セシ以来殆ト二箇月ヲ経過仕候處所屬人民ノ風ヲ

望テ興起シ洗心歸順セシ者ハ咸ク優渥ナル我

大皇帝陛下ノ恩寵ニ浴シ德澤臺民ニ及フヲ知リ地方

安謐民生業ヲ樂ミ居候是皆政府ノ至仁厚德撫綏

周到ナルニ由レリ玉等保良ヲ職司トシテ辨理狀ナ

クカニ慙愧仕居候然ルニ何ノ倖カ更ニ 樺山總

督府帥憲閣下ニ大請セラレ酬報金貳百五拾圓ヲ

寵賜セラレ感愧交集リ恐懼罷在候固辭可仕存候得

共盛意ニ悖リ疑貳ヲ滋サンコトヲ恐レ謹テ領收シ將

来善事挙行ノ用ニ充テ可申候茲ニ鳴謝ノ意ヲ表シ

該ニ水野民政局憲臺大人ノ崇安百益ヲ祝ス候

三

REEL No. 1-0463

0039

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

不既

臺北保良局

明治二十八年十月初二日

正主理　劉廷玉
副主理　葉為圭
會辦　李春生

保良局ノ設アリテヨリ日尚淺シト雖モ縣下各庄ニ分局ヲ請開セシムルコト已ニ二十有六ニ至リ皆其地豪名族ヲ擧ケ之カ長タラサルナシ亂離ノ際此擧アリ良民ハ喜ヒ匪類ハ恐ル功跡未タ著ナラスト雖モ能ク彼我ノ間ニ立チ下ニ臨ンテハ民情ノ存スル所ヲ皇恩ノアル所ヲ諭シ上ニ對シテハ匪徒ノ探報捕獲ニ便益ヲ計訴フ殊ニ當部ニ對シテハ

三十一

リシコト事實數回ニ及ヒ功績誠ニ不少右ノ事實ニ付不取敢右賞トシテ金若干円下賜相成度儀也

明治二十八年九月二十二日

總督府陸軍局
憲兵部長萩原貞固

民政局長水野遵殿

REEL No. 1-0463
0040
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/